

本人の回復のために家族ができること

依存症は、本人だけの病気ではなく、家族システム全体を巻き込む病気であると言われています。また、依存症の問題の背景には、生きづらさや孤独・孤立といった精神的・社会的不安があると指摘されています。

今回の講座では、依存症治療経験の豊富な成瀬先生から、薬物依存症当事者が抱える生きづらさや回復のために必要な支援についてご講演いただき、家族ができる関わりについて考える機会としていただくことを目的としています。多くの方の参加を心よりお待ちしております。

11/13
(金)
締切

日時

令和8年11月20日(金)

10:00～12:00（受付9:30～）

講師 埼玉県立精神医療センター
病院長補佐 成瀬 暢也 先生

【講師紹介】

順天堂大学医学部卒業後、同大精神神経科入局。平成2年に、埼玉県立精神保健総合センター開設と同時に勤務となり、平成7年から、同センター依存症病棟に配属。平成20年から副病院長を務められ、令和8年4月から現職。患者中心の診療を実践され、豊富な経験をもとに全国各地で講演を重ねておられます。多数の著書あり。
専門分野：薬物依存症・アルコール依存症、中毒性精神病の臨床

対象

当センター薬物依存症家族教室(西部・東部)参加者、
家族の薬物問題でお困りの方

会場

【西部】 広島県立総合精神保健福祉センター
情報研修棟2階 教育研修室
(広島県安芸郡坂町北新地二丁目3-77)

【東部】 広島県福山庁舎第3庁舎5階集団指導室
(広島県福山市三吉町一丁目1-1)

※西部会場からのオンライン配信を視聴
(東部家族教室参加者のみ)

アクセス



◆ JRの最寄り駅：呉線・矢野駅
◆ 自家用車可(駐車場あり)

申込方法等

- ・家族教室参加者は申込み不要です。その他の方で参加を希望される場合は、裏面の参加申込書に記入の上、メールまたはFAXで期限までに申し込んでください。申込者氏名はニックネームも可能です。
- ・家族教室参加者以外の方は西部会場の方のみの参加となりますのでご注意ください。

(主催・問合せ)

広島県立総合精神保健福祉センター 地域支援課
電話：082-884-1051 FAX：082-885-3447
E-mail：shcchiiki@pref.hiroshima.lg.jp